

**◇地域資源の自動車燃料化に取り組んでいます。**

現在、策定作業中の「滝川市バイオスタウン構想」に基づき、国内でも有数の栽培面積を誇る滝川の菜種の一つの可能性としてエネルギー利用、特に欧州で普及するバイオディーゼルとしての利用を探るべく、調査及び走行試験に取り組んでいます。

また、BDFとは異なるSVOハイブリッドシステムの導入により、給食調理から排出される使用済み食用油を専用キットを登載した公用車の自動車燃料として利用しています。さらに市内の一般家庭及び事業所等から排出される使用済み食用油に範囲を拡大して、効率的な収集方法や経済性、環境性などの面から調査検討し、19年度以降の事業化を目指しています。



18年2月のBDF走行試験

**◇フリーマーケットの活性化支援に取り組んでいます。**

フリーマーケットは主婦を中心に「売る側」「買う側」双方から高い人気を博しており、市に対しても開催情報などの問い合わせが多く寄せられています。フリーマーケットは不要品の再利用を促し、資源の有効利用、廃棄物の発生抑制といった環境面はもとより、イベントでの集客力向上や人々の交流促進など多面的な効果が見込まれることから、市としてもこれを支援するため、フリマ参画者を結びつけることを目的に、情報仲介機能を担うべく「滝川市フリーマーケット情報交流事業」を平成17年度から開始しました。これまでの2年間で延べ30件ほどのフリマ情報を発信してきました。

